

PASセルフケアセラピー看護学会  
トレーニング検討委員会主催

# 最終講演&座談会

6月28日(土)14時~17時

講師 南裕子先生 片田範子先生  
座談会登壇者 南裕子先生 片田範子先生  
岡谷恵子先生 遠藤恵美先生

看護の対象となる人々のセルフケアを引き出すために  
私たちはどのように関わっていく必要があるのか？



【開催方法】 オンラインと会場のハイブリッド開催（会員対象：オンデマンド配信あり）

【会場】 三宮コンベンションセンター 兵庫県神戸市中央区磯辺通2丁目2-10 ワンノットトレイズビル5F(各線三宮駅 徒歩で約8分 貿易センター駅 徒歩約1分)

※会場参加は先着60名までですので、お早めにお申し込みください

### 【参加方法】

会員：会場又はZOOMでの参加。

非会員：会場での参加のみ。

### 【参加費】

学会の会員：無料 非会員：1,000円（お支払いは現地で）

【お申込み】 右上のQRコードより6月27日（金）12:00までにお申し

<https://x.gd/h3FOi>

※詳細情報は右側のQRコード又は次のURLからご確認ください

<https://www.passct7.com/>





### 南裕子先生

看護未来塾代表世話人、聖路加国際大学・兵庫県立大学・高知県立大学・神戸市看護大学名誉教授



### 片田範子先生

(公)三重県立看護大学  
理事長・学長



### 岡谷恵子先生

日本慢性疾患セルフマネジメント協会  
理事長



### 遠藤恵美先生

横浜市立大学附属市民総合医療センター  
精神看護専門看護師

#### 趣意書

オレムの「看護のセルフケア不足理論」は、パトリシア・アンダーウッド先生が精神科看護にセルフケア理論の活用可能性から、精神看護での操作化を図り、それを南先生が、オレム-アンダーウッド理論として日本の精神科の臨床に導入したことで、日本の精神科看護の中でオレムアンダーウッド理論が広まりました。オレムアンダーウッド理論のセルフケアの展開は、精神力動理論を用いて対象理解し、欲動展開に基づき、セルフケア放棄やセルフケアの機能不全など辿れなくなっている人のセルフケアを引き出すことで、精神科領域だけでなく悪性腫瘍や糖尿病などでも活用されるようになってきています。しかし、セルフケアへの実践技法が十分に体系化されていないことから、PAS-セルフケアセラピー看護学会では、セルフケアへの介入の実践技法を体系化し可視化することが課題と考え、これまでの学会での検討やトレーニングでの実践技術の検討を行ってきました。これまでの取り組みの中で、見立ての力動的理解の深まりや介入の方向性の確認は行ってきましたが、実践技法を体系化し、可視化するという課題は残っていると感じています。

第1回のPAS-セルフケアセラピー看護学会の大会での南先生の基調講演の中でケアの受け手が「自分の中に入ってきてもいいよ」と許す関係になって初めてセルフケアの援助が始まるということがとても印象に残っています。このことは、セルフケアへの介入において、片田先生がこどもセルフケア理論の中で書かれている「セルフケア能力を認め、それを実施しようとする力を信じる」ことにも通じることと考えます。セルフケアの力を信じるところから始めないとセルフケアにはつながらないと思われ、その人のセルフケアの力を信じることで「自分の中に入ってきてもいいよ」と許す関係にもなると思います。そして、やってみて失敗すればそこからまた一緒に考え、患者とともにセルフケアに取り組んでいく過程に看護があると考えています。

今回、PAS-セルフケア看護学会の閉会にあたり、最後の講演として、南先生と片田先生には、それぞれの立場から、「看護の対象となる人々のセルフケアを引き出すためにどのように関わっていくか」についてご講演頂きたいと思っております。その後、トレーニング検討委員と、これまでの学会の取り組みや看護師のセルフケアへの関わりについて話し、その後登壇者4人での座談会のなかで、未来に向けての展望が話されると良いかと考えています。

PASセルフケアセラピー看護学会